

## 技術職員ネットワークの拡充と技術交流の促進に向けた新たな取り組み：大学・高専技術交流会の創設

石井, 大輔  
九州大学応用力学研究所技術室

<https://hdl.handle.net/2324/1786455>

---

出版情報：九州大学応用力学研究所技術職員技術レポート. 16, pp.57-59, 2015-09. Research Institute for Applied Mechanics, Kyushu University

バージョン：

権利関係：

## 技術職員ネットワークの拡充と技術交流の促進に向けた新たな取り組み

### —大学・高専技術交流会の創設—

石井 大輔

#### 要 旨

2015年3月、九州大学筑紫キャンパスにて第1回大学・高専技術交流会 in 九州大学を開催した。当日は、近隣の4高専から多数の技術職員が参加し、口頭／ポスター発表や施設見学／デモ実演、情報交換会等を通じて、技術的な討論や情報交換はもちろんのこと、技術職員同士の交流や親睦を深める絶好の機会となった。

本稿では、大学・高専技術交流会を企画・立案するに至った経緯を中心に記すこととし、今後も本交流会を継続的に開催していくことで、機関を超えた人的／技術的交流の深化や連携強化を図っていききたい。

#### キーワード

技術職員ネットワーク, 技術交流, 大学, 高専

#### 1. はじめに

応用力学研究所技術室は、2011年2月から計3回にわたり学内の技術職員を対象とした九州大学技術研究会<sup>[1]</sup>を学内の主要キャンパスで開催してきた。当時の開催目的は、学内における技術職員が技術研究発表や討議、情報交換を通じることで技術力の研鑽や向上意識を共有するだけでなく、交流深化による他地区／他分野間における連携強化と新たな技術開拓・技術創意に繋げていくことを目指すものであった。結果、学内では恐らく初めてとなる技術職員主宰によるこのような場の提供が、学内における技術職員間の横の繋がりを、すなわち「技術職員ネットワーク」の形成とその強化に一役買ったことは喜ぶべきことであり、九大技術職員の前進を示す大きな成果とキッカケになったことは間違いない。

その後、中堅・若手職員で構成する事前検討会にて本研究会の継続を含む様々な案<sup>[2]</sup>を模索した結果、我々は新たな取り組みにチャレンジすることを決めた。それは、学内だけに留まることなく近隣の大学や高専技術職員とともに新たな技術職員ネットワークを構築し、相互の技術交流や技術補完等を促進するためのコミュニティ「大学・高専技術交流会」を創設することである。

本稿では、本交流会の実行委員長という立場から、応用力学研究所技術室が母体の実行委員会主催による第1回大学・高専技術交流会を開催するに至った経緯について記すに留め、本交流会の詳細や企画検討・運営準備などの業務に初めて従事した実行委員会メンバーの苦悩や成長、本交流会の回想などについては、Fig.1に示す公式ウェブサイト<sup>[3]</sup>ならびに技術室の活動史の一つとして綴る本誌の別稿<sup>[4]</sup>に譲る。

#### 2. 大学・高専技術交流会を企画した目的や動機

大学や高専の別に関係なく、教育研究は年々、高度化・専門化・複雑化・迅速化の傾向にあり、技術的教育や研究支援活動に従事する技術職員の果たす役割は、教育・研究活動の一翼を担う上で欠かせないものと認知されている。そのため、今後の教育・研究支援活動への貢献や世の中への還元に繋げていくためには、技術職員は従来の教育・研究支援活動だけに専念するだけではなく、常日頃から広範かつ専門性に優れた知識教養や質の高い応用・先進技術を積極的に修習し、自己の職務効率化と職能向上に尽力しなければならないと考える。

昨今、全国はもとより九州規模でも様々な技術研究会が技術職員（技術組織）の主宰で開催されており、その多くは技術発表や懇親会等を通じて相互の技術向上や他機関との交流を図ることが目的とされている。「参加することに意義がある」という文言を時々耳にする。これらの研究会には全国から数多くの技術職員が参加しているが、そこで得られた知識や情報を自身の職場へ持ち帰り、実際の日常業務や技術開発等に果

たしてどのくらい有効活用できているのだろうか。また、新たに得られた人脈は研究会後も大学や高専の枠を超えた技術相談や共同開発等に活かしているのだろうか。年に幾度とない技術職員向けイベントへの参加が有意であることは疑う余地はないが、果たして毎度の主催校が掲げる開催目的を達成できている参加者がどの程度いるのだろうか、と自身のことも含めてふと思う時があった。

大勢の技術職員が集うイベントに参加し新たな知識や人脈を得ること（広く浅く）は大切なことである。しかし、小規模で少人数しか集まらないイベントであっても技術発表に対する密な討議や意見交換を活発にし、機関独自の施設見学や技術演習等の場を共有し合うことで「技術屋としての実効的な知識と技能」を向上させること（狭く深く）は、更に重要なことではないかと最近改めて思い直したのである。

そこで、まずは本学近隣（おもに北部九州地区）の高等教育機関（大学、高専）に所属する技術職員を対象に、新たな技術職員ネットワークの構築と技術交流ができる場として「大学・高専技術交流会」を立案した。前提は、技術職員特有の広範な知識や経験、応用技術や創意工夫等、日常業務から生まれる話題を共有することで、新たな知見習得や更なる技術向上、技術開拓や技術創意に繋げるためであるが、本交流会への参加やそこでの発表実績が各校の技術組織活動の活性化や成果に繋がること、その発展として各技術職員間／各校間における連携強化や技術補完等の一助になることを期待した。

### 3. おわりに

本交流会の開催を通じて、様々な技術知見の修得や新たな人脈形成とともに、大学や高専の別に関係しない技術職員としての共通課題や目標などを共有できたことは、大きな成果である。

本交流会はまだ始まったばかりである。大学や高専の技術職員の理解と協力を仰ぎながら本交流会を更なるものに成長させていくことが、教育・研究・地域貢献の振興はもとより、技術職員個人および各校の更なる飛躍、そして大学と高専の技術職員間の盤石な基礎を築くための懸け橋に繋がるものと信じている。これを実現するために、今後も惜しみない努力と応用力学研究所技術室の英知を結集して、本交流会の開催を継続していく所存である。

### 謝 辞

第1回大学・高専技術交流会 in 九州大学を開催するにあたり、ご多忙中の折り、開会挨拶を賜りました応用力学研究所長 大屋裕二教授に厚く御礼申し上げます。また、特別講演として貴重な話題提供をして頂きました、応用力学研究所 地球環境力学部門 海洋動態解析分野 千手智晴准教授に深謝致します。

最後に、実行委員会副委員長の東島亜紀女史をはじめ、中野智氏、松島啓二氏、油布圭氏、野田穰士朗氏、川口晃氏、牟田口嵩史氏には、実行委員会幹事として企画立案から準備・片付けまで積極的に活動して頂きました。そして、応用力学研究所技術室の諸氏ならびに応用力学研究所の安永誠氏には、会場設営や開催運営にご協力頂きました。この場をお借りして皆様方に謝意を表します。

### 参考文献

- [1] 石井大輔：九州大学技術研究会の創設と開催を経て、九州大学応用力学研究所技術室 技術レポート, 13, 95-115, 2012.
- [2] 石井大輔, 中野智, 安永誠, 松島啓二：九州大学技術研究会の将来展望とその実現に向けた取り組み, 九州大学応用力学研究所技術室 技術レポート, 13, 137-141, 2012.
- [3] 第1回大学・高専技術交流会 in 九州大学 公式ウェブサイト：<http://tech-ex.riam.kyushu-u.ac.jp/2015/>
- [4] 東島亜紀：大学・高専技術交流会を振り返って、九州大学応用力学研究所技術室 技術レポート, 16, 60-62, 2015.

## 第1回大学・高専技術交流会

1st Higher Education Institutions' Technology Exchange in Kyushu University, 2015

管理者さん、ログインしています

管理画面 - パスワード変更 - ログアウト

### 更新情報 Update

御礼の挨拶

開催風景

アンケート結果

### 総合案内 General Information

ご挨拶

参加者の皆さまへ

大学までのアクセス

会場案内・学内マップ

お問い合わせ

### 開催案内 Announcement

開催要項

プログラム

発表要旨

情報交換会

発表要領

### BANNER



### Information

期 日：2015年3月13日(金)  
場 所：国立大学法人九州大学 筑紫キャンパス

#### 開催までのスケジュール

- 2014-11-25 (火) 参加登録 受付開始
- 2015-01-19 (月) 発表者 参加登録締切 **終了**
- 2015-02-16 (月) 聴講者 参加登録締切 **終了**
- 2015-03-10 (火) ポスター発表資料 送付締切 **終了**



### What's New !

- 2015\_03\_20 会期中の写真を『開催風景』に掲載しました。 [more](#)  
アンケートの集計結果を掲載しました。 [more](#)
- 2015\_03\_16 第1回大学・高専技術交流会は、多くの方々にご参加いただき、盛況裡に終了いたしました。実行委員一同、参加者の皆様に厚く御礼申し上げます。 [more](#)
- 2015\_03\_11 ポスター代行印刷サービスの申込みを締め切りました。
- 2015\_03\_10 参加者の皆さまへの情報、情報交換会の情報を更新しました。
- 2015\_02\_17 参加申込を締め切りました。多数の申込ありがとうございました。
- 2015\_02\_12 プログラム・発表要旨・情報交換会に関する情報を掲載しました。
- 2015\_01\_20 発表申込を締め切りました。多数の申込ありがとうございました。
- 2014\_12\_08 ポスター印刷代行サービスに関する情報を更新しました。
- 2014\_11\_25 第1回大学・高専技術交流会のウェブサイトを開設しました。  
参加申し込みを開始しました。

Fig. 1 大学・高専技術交流会ウェブサイトの外観